

「もみじ台地域まちづくり指針の検討に関するオープンハウス」開催結果

札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課

1 開催概要

(1) 開催日時・場所

1日目：令和5年6月2日（金）13時30分～17時30分

ホクノスーパー中央店2階 健康ステーション

2日目：令和5年6月4日（日）10時00分～17時00分

もみじ台管理センター2階 大会議室

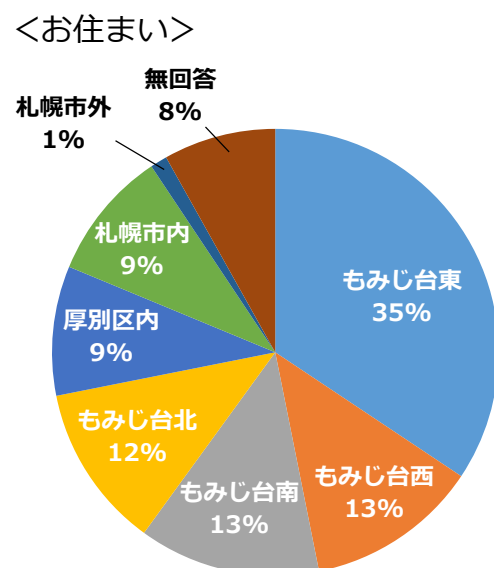
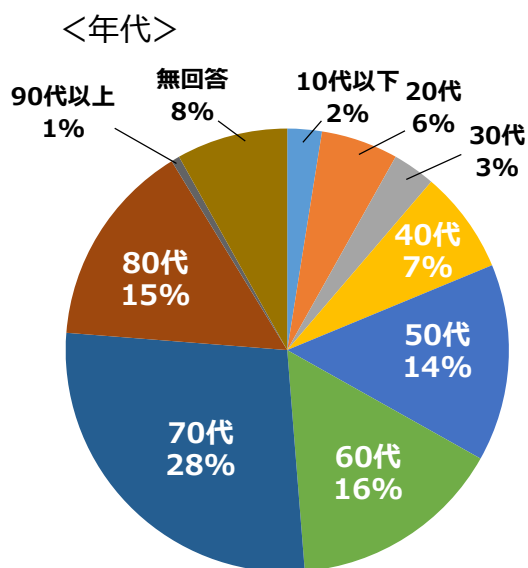
(2) 開催形式

会場内にご用意した展示パネルや資料をご覧いただき、ご来場の皆様からのご質問やご意見を常駐の職員がお伺いしました。

2 来場者数

のべ160名（6月2日：94名、6月4日：66名）

3 来場者属性



<当日の様子>



4 いただいたご意見・ご質問

- 直接説明を聞いて意見を伝えられる機会は有意義であったという声を多くいただきました。
- まちづくり指針については、若い世代の流入に力を入れてほしい、便利な施設が増えてほしいなど、将来像・目標や土地利用再編に関するご意見をいただきました。
- 義務教育学校については、地域の中心部にあった方がよい、学力が向上するとよい、児童に細やかな対応ができる小規模校の方がよいなど、様々なご意見をいただきました。また、義務教育学校の設置候補地にある市営住宅にお住まいの方々の移転時期や移転先に関するご質問や、移転に対する不安・懸念のお声をいただきました。
- 市営住宅については、早く建替えてほしい、建替えのスケジュールを示してほしいなどのご意見をいただきました。
- まちづくりの進め方については、まちの変化が楽しみなので早く進めてほしい、今後も地域住民の意見を聞きながら検討してほしいなどのご意見をいただきました。

分類	ご意見・ご質問の内容
オープンハウス に関すること	・検討状況をよく理解できた。今後もこのような取組をもっと実施してほしい。
	・疑問を直接聞くことができよかった。
将来像・目標・取組の 方向性に関すること	・住みやすさや子育てしやすさをアピールして、若い世代の流入に力を入れてほしい。
	・人口減少を見据えた将来像ではなく、人口増加を目指す将来像にするべき。
	・既存のバスは便利なので維持してほしい。また、北広島方面やテクノパーク方面と行き来しやすい交通手段や地域内を循環する交通手段があればさらによい。
	・屋内外でバリアフリー化を推進して、暮らしやすいまちにしてほしい。
	・避難場所は住民が普段から利用する施設の方がよい。
土地利用再編 に関すること	・まちづくり指針案の土地利用再編の考え方はもみじ台地域の特性をよく捉えている。
	・飲食店やカフェ、コンビニ、パン屋さん、病院、アパートなど便利な施設が増えてほしい。そうなれば、もみじ台に住みたいと思う人が増えるかもしれない。
	・若い世代の流入を図るためにも生活利便施設が必要。
	・もう少し柔軟な土地利用ができるように地区計画を見直すべき。

	<ul style="list-style-type: none"> ・よい景観がたくさんある歩いて楽しいまちになるとよい。また、歩きやすいまちになるように誰でも気軽に訪れることができる休憩スペースを設けてほしい。 ・熊の沢公園は大変眺望が素晴らしいので、現状を維持するべき。 ・市営住宅等公共施設の跡地に、企業を誘致してはどうか。 ・もみじ台南中学校の跡地はどのように活用するのか。 ⇒（札幌市回答）今後、跡活用に向けて地域の皆様と協議し、活用の考え方をまとめたいと考えています。
市営住宅 に関すること	【E1～6号棟に関すること】
	<ul style="list-style-type: none"> ・移転時期や移転先はいつ決まるのか。不安なので、早く示してほしい。 ⇒（札幌市回答）現時点で移転することについて決定しているものではなく、まちづくり指針で義務教育学校を含むまちづくりの方向性が定まった後、説明会を行ったり、個別に希望を伺うなど、段階を踏みながら調整を行っていくことを想定しています。 ・E1～6号棟の住民はすぐに移転しなければならないと聞き不安に思っていたが、オープンハウスで詳しく話を聞き、すぐに移転が始まるわけではないことを知って安心した。 ・高齢で引っ越したくない住民も一定数いる。
	【市営住宅全体に関すること】
	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な建て替えの順番やスケジュールを早く示してほしい。 ・トイレやお風呂が使いにくく、エレベーターもないので不便。早く建替えてもらいたい。 ・市営住宅の再編により、知り合いと離れ離れになってしまうのは嫌だ。
義務教育学校 に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・通学のことを考えると、学校は中心部にあった方がよい。 ・もみじ台中学校までの通学距離が長くて大変なので、早く義務教育学校を設置してほしい。 ・小さな子どもがいるので、義務教育学校という新たな取組に魅力を感じる。 ・義務教育学校の設置によって、学力が上がればよい。 ・先生が児童一人一人に対応することができるので、小規模校の方がよい。 ・義務教育学校は、通う児童の年齢差があり、教職員の負担が大きい。また、児童たちも戸惑うと思うので、義務教育学校の設置には反対。 ・義務教育学校の必要性について、もっと地域の中で議論するべき。 ・義務教育学校のメリット・デメリットなどの詳細について、もっと周知を図るべき。

	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校はいつ頃開校する予定か。 ⇒（札幌市回答）義務教育学校の設置については現在検討中のため、具体的な開校時期は未定です。 ・児童会館を義務教育学校に複合化するのはよい。 ・児童会館の複合化について、学校から遠い場所に住む児童は、特に冬季は夕方の暗い中を歩かねばならないので、身近に位置している方がよい。
<p>まちづくりの進め方 に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まちが変わっていくことが楽しみなので、早く進めてもらいたい。 ・まちづくり指針や土地利用再編方針など、段階的に計画を検討していくという今後の流れが理解できた。 ・まちづくり指針の次に検討するとしている土地利用再編方針はいつ頃決まるのか。 ⇒（札幌市回答）具体的な予定は決まっていますが、少なくとも3年程度は検討に時間を要すると考えています。 ・会場まで訪れることが難しい住民もいるので、そうした人たちからの意見を聴取するために、今後はアンケートの実施など検討してほしい。 ・指針やまちづくりの取組に関する周知にもっと力を入れてほしい。 ・インターネットでの広報になじみがない年齢層が多いので、紙面でも周知してほしい。